

平成31年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立敷島小学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学／英語に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語、算数ともに平均正答率は、全国とほぼ同程度であり、一定の定着がみられます。
- ・国語の平均正答率は A；話すこと・聞くこと C；読むことの領域では、全体平均を上回り、定着が見られます。B；書くことの領域では、目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、分かりやすく書くことに課題がみられます。
- ・算数の平均正答率は A；数と計算 B；量と測定の領域では、全体的に全国を上回り、日々の取り組みの成果が現れています。数式や図形について式や言葉を使って説明する力に課題がみられます。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

よい傾向がみとめられる項目

- ・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか。」「人が困っているときは、進んで助けていますか。」「物事を最後までやり遂げて、うれしかったことはありますか。」に対して肯定的に答えた児童の割合が高いです。
- ・「学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか。」「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか。」に対して肯定的に答えた児童の割合が全国に比べて高いです。

課題となる項目

- ・「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか。」「自分にはよいところがあると思いますか。」に対して肯定的な回答をした児童の割合が低いです。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・「聞く・話す」等の学習規律を整え、児童が集中して、授業に取り組める環境を整えます。
- ・道徳の授業や学年・学校の行事等を通して、自分のことや人との関わりについて考え、自己肯定感やソーシャルスキルを育てます。
- ・朝学習の時間を活用して、国語・算数の問題に取り組み、基礎学力を養います。
- ・「自分の考えや思いを伝え合う活動」を取り入れた授業を展開し、「話す・聞く・考える」力をつけます。
- ・自信を持って何事にも取り組むことができるように、教師が言葉かけを行い、児童の自尊感情を高めていきます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・「家庭学習の手引き」を活用し、児童が自ら学習に取り組めるよう声をかけていただくとともに、一緒に考えたり学ぶ姿をみせたりするなど大人が関わってあげてください。
- ・ゲームやテレビ、スマホ等のルールを決めて守らせましょう。
- ・地域や社会、日本や外国で起こっている問題や出来事について、家庭で話題にしてください。
- ・自尊心を育てるために、家族としての役割をもたせ、仕事や学習の様子を認めたりほめたりして、成功体験をたくさん得られるような場面をつくってください。